

学生の活躍

2011年度 全国大会など

陸上競技部

陸上競技部部長 機械工学科3年 西 勇也

今年の全国高専大会は、長野県で行われました。昨年の富山県での大会は奈良高専から3名の出場でしたが、今年の大大会はオープン種目出場者を含め9名の選手団での参加でした。そして200mでは3位、100mでは5位にそれぞれの選手が入賞し、また4×100mリレーでは2位入賞という悲願を達成することができました。

現在、陸上部では4年生主体だった活動が3年生主体に世代交代し、来年度の全国大会により多くの部員が出場することを目標に日々練習に励んでいますので、今後とも応援よろしくお願いします。



バレーボール部(女子)

全国大会を終えて

物質化学工学科5年 吉田 有希

7月の近畿大会で優勝し、9月2日～4日に開催された全国大会に出場してきました。奈良高専(女子)は11年ぶり2回目の全国大会出場となりました。去年の近畿大会の悔しさから、必死に練習しました。1年間で約250セットの練習試合をこなし、実戦形式でレベルを上げ、念願の全国大会に出場することができました。予選では、秋田高専、長野高専と対戦しました。残念ながら敗退しましたが、「粘って攻める」バレーができたと思います。私たち5年生は引退しますが、新チームでも楽しんで自分達のバレーをしてほしいと思います。最後に、松井先生をはじめ、顧問の先生方、保護者、OB・OGの皆様、本当に世話になり、どうもありがとうございました。



バドミントン部

全国高専大会に出場して

バドミントン部部長 物質化学工学科3年 北口 雄也

私たちバドミントン部は近畿高専大会を勝ち抜き、全国大会に出場しました。男子は4年ぶり、女子では2年連続の出場でした。大会結果は、男子個人戦、女子個人戦共に1回戦敗退、女子団体戦では2回戦敗退でした。全国大会では、出場選手のレベルが高く、私たちは良い結果を残すことはできませんでした。しかし、その負けをただ悲しむのではなく、その試合で得られた反省点、経験などをこれからのクラブ活動に反映させ、来年度の近畿大会での活躍、そして、全国大会出場という新たな目標に向かって、さらなる努力を続けていこうと思っています。また、全国大会に出場できなかった学生も近畿大会入賞、全国大会出場のために士気高く練習しており、今回の大会出場以外にも多くの成果を得ることができました。



水泳部

物質化学工学科4年 神原 奈央

今年度、個人では1年の石川君、5年の水谷さんの男女1名ずつ、団体では今年から全国競技に加わった女子リレーで全国大会に行くことができました。全国大会が初めての人も多かったのですが、緊張し過ぎる事もなく良い緊張感の中で泳げました。結果、石川君は800m自由形で準優勝、水谷さんは100m平泳ぎで決勝進出と好成績を残しました。女子リレーについては成績としては良くなかったものの、全員が出せる最大限の力を発揮しました。私は1年の時から毎年全国大会に出場していますが、これだけの成績が残せたのは初めてで、とても嬉しく思っています。

昨年度より1年間部長を務めさせていただき、今までの部長に負けないくらいの成績を残せるよう頑張ってきました。その努力が報われ、近畿大会で団体3位をとることができ、また個人でも全国出場にはとどかなかったものの、全員が素晴らしい泳ぎを見せてくれました。一方で、まだまだ伸び代があるとも感じられました。来年はきっと後輩たちが今年より素晴らしい結果を残してくれるだろうということを私は確信しています。

最後に、水泳部を支えてくださった教職員の方々、先輩方、後輩たち、そして同学年の仲間に深く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。



アーチェリー部

西日本高専アーチェリー競技会に出場して —女子団体戦・女子個人戦優勝—

物質化学工学科2年 緒方 七海

今回は私にとって2回目の大会でした。今大会は女子部員が1名増えて3名となったので、女子団体戦にも出場できました。去年の大会は、自分が思っていたより成績が出せなくて少し悔しい思いをしました。だから、今回は前の大会で悪かったと思った点を改善し、気持ちを集中して、自分が納得できるように頑張りました。そしてその結果、女子団体戦(2C 緒方・松村・川上)・女子個人戦ともに優勝することができました。しかし、私一人の力で今大会の成績が得られたのではなく、私を指導して下さった先生やコーチ、そして支えてくれた先輩・友達・家族など周りの方々のおかげだと思っています。このような方々に感謝し、これからもアーチェリーを頑張っていきたいと思っています。

